

令和6年度高梁川流域地域づくり連携推進事業 審査結果及び講評

事業名 : みんなの居場所実現プロジェクト
グループ名 : みんなの居場所研究会
審査結果 : 採択可

地域で暮らす子どもと保護者の家庭や学校以外の「第三の居場所」の必要性に着目し、ふわサポ倉敷の持つ継続した居場所の提供や食支援のノウハウを、発達に課題のある子どもと保護者支援を行っている手と手と手あさくちが受け継ぐことで、子どもたちが過ごせる居場所と、その保護者が集える場づくりを行おうという計画は、本制度の趣旨に合致している。また、両団体からは安心して子育てできる環境づくりを進めたいという熱意を感じることができた。

一方で、居場所の運営にあたっては、幅広い年齢の子どもとその保護者の受け入れを想定しているが、対応できるスタッフの人数が少ないことで、突発的なトラブルの発生も予測される。今回の事業で、様々な取組にチャレンジしたいという意欲は共感できるが、次年度以降も活動を継続していくためにも、安定した組織体制は不可欠であり、実施可能な事業となるよう人員確保等にも努めていただきたい。食支援についても、当初は受益者負担を求めないとのことだが、自己資金の確保も解決すべき課題であることから、地元企業等への情報発信を行い、事業への賛同者を募るなど、次年度以降の予算確保に向けて検討をお願いしたい。

また、SNSによる情報拡散を行うことで、より多くの住民に周知を図りたいという趣旨は理解できるが、居場所を利用しづらい働く保護者家庭など潜在的なニーズへの対応についても、アプローチ方法の工夫が必要と考える。

これまでの活動の中でも、利用者から運営協力の申し出があるなど、新たな担い手も集まっていることから、地域でのニーズは高いと考えられるので、本事業の推進によって、浅口市における子どもと保護者が利用できる居場所が確保され、安心して子育てできる環境づくりが進んでいくことを期待したい。